

C-Style に無いプログラム

小数の変数 double

少数点のある変数を扱うことができます。

```
変数名 演算子 (例: =, +=, -=) 値;
```

例) `Pi = 3.1415;` // 変数 Pi に 3.1415 を代入

呼び出し必要

```
double 変数名 = 初期値;
```

使用するときには上図のように初期化して作成してください

例) `double count1 = 0.0;`

Pwm 出力

1 か 0 かしか出力できない DigitalOut とは違い、高速で On/Off を

切り替えることで疑似的に中間値を出力することができます。

```
名前 = 状態 (0~1);
```

例) `pwmlled = 0.5;` // pwmlled で定義したピンから 50 パーセントの出力

呼び出し必要

```
PwmOut 名前 (ピン名);
```

使用するときには上図のように初期化して作成してください

例) `PwmOut pwmlled(A1);`

デジタル入力チェック (条件式でデジタル入力を使う)

任意のピンに入力が入ってきたかを調べます

```
if(名前 == 状態(1か0)) {
```

呼び出し必要

```
DigitalIn 名前(ピン名);
```

使用するときには上図のように初期化して作成してください
例) DigitalIn sw1(D4);

条件式の組み合わせ

条件同士を比較させることができます

```
if(条件式 論理演算子 条件式) {
```

例)if(Led1 != 0 && line>0.3){

//もし Led1 が0では無くて「かつ」lineが0.3以上で有ったら

比較演算子	使い方	意味
&&	A && B	AとBどちらも正しいかどうか(and)
	A B	AとBのどちらかが正しいかどうか(or)